

日本ボストン会会報

発行者 日本ボストン会事務局 郵便番号227 横浜市青葉区若草台8-28

名古屋ボストン美術館の設立

名古屋ボストン美術館長 小倉忠夫

名古屋ボストン美術館が平成11年(1999年)の春、名古屋市中区の金山総合駅のすぐ近くに開館することになっています。

昨年11月末に、この美術館の運営財団として名古屋国際芸術文化財団(FOUNDATION for the Arts, Nagoya/ 略称FAN)が設立されると共に、3年あまり先の開館を控えて、名古屋ボストン美術館(Nagoya/Boston Museum of Fine Arts)も組織として設立されました。

日本ボストン会の皆様方に、この美術館の概要についてお知らせできますことを、私共は大変嬉しく存じております。

まず当館の基本的な特色としては、米国ボストン美術館と姉妹館の関係にあること、そしてボストン美術館の優れた大規模なコレクションの専用展示館であること、この二つが挙げられます。ボストン美術館は世界で有数の総合的美術館として知られ、地域的には殆どの主要文化圏の美術を網羅するとともに、時代的には約5500年にわたる美術史をカバーしています。

このような「百科辞典」的な基本的特色の他に、エジプト美術、印象派などの19世紀フランス絵画、海外では最も優れた日本美術、東洋美術などのコレクションが有名であります。また、明治初期からのモース、フェノロサ、ビゲローほかのボストン人士

と日本との深い交流、ならびに岡倉天心、富田幸次郎とボストン美術館との長年にわたる関係などが想起されます。

もちろんボストンから名古屋へ送られる展覧会は、コレクションの全部門から構成され、20年の間に次々と開催されます。このプロジェクトは一応20年間の契約を結んでおり、展覧会の形式は常設展と企画展の二種類となっており、両者が並行して開催されます。常設展は5年間の長期展示ですが、ギャラリーの一部に日本コーナーを設け、時おり展示替えをします。企画展は年2回開催の予定です。

この2種類のギャラリー(展示室)の広さは、合わせて約1400㎡ていどの規模となっています。

開催年の展覧会のテーマは次の通りです。

企画展

第1回(平成11年春～)

<モネ、ルノワールと印象派の風景>

第2回(平成11年秋～)

<岡倉天心とボストン美術館>

常設展

第1期(平成11年～平成15年)

<古代地中海世界の美術>

以上簡単ですが、名古屋の財界、名古屋市、愛知県の三者協力のもとに推進される、名古屋ボストン美術館プロジェクトの概要です。(了)

日本ボストン会イベント

第2回	ハイキング	高尾山・小仏峠	96年4月20日(土)
第3回	ゴルフ	富士平原ゴルフクラブ	96年5月18日(土)
第4回	講演と音楽の夕べ	アンダンティノ	96年6月21日(金)
第3回	ハイキング	尾瀬ヶ原	96年6月29・30日(土・日)
	歴史研究会/歴史を飲もう会		96年7月13日(土)(予定)
第5回	総会		96年10月25日(金)(予定)

(別項関連記事参照)